東丘小だより

校長 河田 法士

令和７年(2025年) ６月３０日発行 第４号

学　年	1	2	3	4	5	6	計
児童数(6/30現在)	96	86	106	102	113	117	620

人知れず・・・

【人に知られないように。ひそかに。】と言う意味です。

例えば、人知れず努力をする、人知れず毎朝草木に水をあげている、日常の学校生活には、そんな『人知れず』で成り立っているところがたくさんあります。

まずは修学旅行での一コマ。修学旅行には班長だけではなく、決まった係がそれぞれ責任をもって仕事をしています。その中にお風呂係があり、主にはクラスが全員あがったあとの脱衣所などを最終チェックして忘れ物“０（ゼロ）”作戦を実行する係です。

その責務をしっかり果たしたあと、誰も居なくなってから『あっ！』とお風呂場に戻り、椅子や風呂桶などを整理している姿がありました。

誰もが居なくなったあとなので、知っている人や気付ける人はいませんが、輝きの館のスタッフの方に日本が誇る『来た時よりも美しく』の精神が伝わっていればいいな、と思っています。

あと、校内でもこんな景色があります。（私にとっては絶景！ポイントです）

600 人を超える子どもたちが １ 日 7～8 時間も過ごす学校なので、めざしてはいるものの落とし物はなかなか“０（ゼ～ロ～）”にはなりません。名前の書いているものは何回落としても本人の元に返りますが（家の人に感謝を！）、そうでないものは落とし物コーナーで持ち主の出現を寂しく待っています。落とし物は、拾ってくれた人がコーナーに置いてくれています。そのまま拾わずではなく拾ってくれるだけでもありがたいのですが、時折きれいに整頓されていることがあります。

先生方には可能な限り気にかけてもらえるようお願いしていますが、誰かが人知れず並べ直してくれているのだと思います。

朝教室の鍵が開いている、窓が開いている、一輪車が並んでいる、給食室前のメニューが毎日変わっている、などなど人に知られないようにしているかは別として、誰かが『人知れず』やってくれています。

そんな所にたくさん気付くことができる、そんな感覚を、これからも磨いていってほしいですね。子どもだけではなく、大人も…大人が？

マイクロアグレッション

先日、人権協の東丘地区委員会を行いました。
そこで、委員さんが予め準備してくれていた
人権啓発推進のDVDを鑑賞しました。

ストーリーとしては、様々な立場や関係性にある登場人物が、 それぞれ自分の言動や考えを振り返りながら、属性にとらわれずありのままのその人に向き合うことの大切さを知るという内容でした。

その前に、『マイクロアグレッション』という言葉はご存知でしょうか？

あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のこと、またの名を“無自覚の差別”といいます。

韓国出身で日本に留学に来ている青年、サラリーマンを辞めて子どもの頃からの夢だった花屋を開いたお父さん、父の花屋を手伝いながら建築事務所に勤める娘さん、その娘さんが務める事務所の20代前半で結婚報告をする同僚などが登場します。青年は花がわからないので娘さんに誕生日の花束をお願いし、娘さんはてっきり彼女に渡すものと思い込んでいましたが、実はその渡す相手はお世話になっている高齢の大家さん。お父さんが入院している病院で、車いすを押す男性を医師か作業療法士かと聞いたら看護師だった。結婚報告をした同僚は、周りから祝福のよりも若さ故の心配事などが先んじて・・・。

それぞれが悪気なく、それどころか良かれと思って言っているのかもしれませんが、『相手はどのように受けとっているのか？』という相手意識はそこにあるかどうかが問われました。『〇〇だから（当然）△△でしょ』、一般的には大半がその通りであっても、全部がそうではないこともしっかり考えておかなければなりません。

勝手なイメージや思い込みを知らず知らずのうちに相手に押し付けていないかどうか？"小さな攻撃性"は発動していないかどうか？？

私の失敗談として、以前全盲の方とお仕事をする機会に恵まれ、初対面で打ち合わせをしました。『目が見えない』ということは、耳からの情報が主になるので、ゆっくり聴き取りやすく話をするようかなり意識をして話をしました。打ち合わせも終盤になって、情報をどう得ているのか？という話の中で、その方が『ニュースを毎日聞いています』と。

そのいつも聞いている音声を聞かせてもらうと、私がほとんど聞き取れないほどのスピードでした。

人権は生活すべての根底にあり、人権はどの学習にもつながるもので“オール人権”だと思います。自分の思っていることを話す、そして相手の話を聞く、そんなところから人権擁護・相互理解はすでに始まっています。

人権課題への適切な理解と一方に偏ることのないバランス感覚、そして自己発信だけでなく他者意識は非常に大切だと考えます。

日常何げない場面に潜む『マイクロアグレッション(無自覚の差別)』、人権はこれまでもずっと学び教えてきたはずの私でしたが、また新たに発見があったような感じがします。

7月の行事予定

1	火	40分授業（1・2年13:40　3～6年14:25下校）　図書館WS
2	水	40分授業（5時間授業　13:40下校）
3	木	尿検査④
4	金	合同あいさつ運動　図書館WS（年）
5	土	
6	日	
7	月	SC・SSW B週
8	火	40分授業（13:00下校）　個人懇談（14:00～）
9	水	全校朝会　委員会②　全学年13:40下校
10	木	算数タイム　40分授業（13:00下校）　個人懇談（14:00～）
11	金	尿検査⑤
12	土	
13	日	
14	月	着衣泳（6年）40分授業（13:00下校）個人懇談（14:00～）SSW A週
15	火	40 分授業（13:00 下校）個人懇談（14:00～）
16	水	
17	木	お話お届け隊給食終了　短縮授業（13:20下校）
18	金	終業式・大掃除（12:20下校）
19	土	
20	日	
21	月	海の日
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	土	
30	日	
31	月	

【8月の主な予定】

25 日(月）始業式　26 日（火）風水害避難訓練　給食開始

26日（火）～29日（金）4時間授業　（13:20下校）